

二〇二二年度入学試験

国語試験問題

注意事項

- 一、指示があるまで開かないこと。
- 二、問題は八ページである。万一、落丁などがある場合は直ちに申し出ること。
- 三、解答用紙は解答用紙A(マークシート)と解答用紙B(記述式)の二種類である。
- 四、解答はすべて解答用紙に記入すること。
- 五、解答用紙には受験番号、氏名を忘れずに記入すること。
- 六、解答用紙A(マークシート)の記入にあたっては、次の事項について注意すること。
 - ・ HBの鉛筆またはマークシートペンを使用すること。(シャープペンシルは不可)
 - ・ 解答用紙に記載の「記入上の注意」をよく読んでから記入すること。
- 七、試験問題は持ち帰ること。

次の文章は、江戸中期の文人、尾張藩の重臣でもあった横井也右の俳文集『鶉衣』の一節である。よく読んで、後の問に答えなさい。

芭蕉翁は五十一にて世をさり給ひ、作文に名を得し難波の西鶴も、五十二にて一期を終り、「見過ごしにけり末二年」の辞世を
残せり。わが虚弱多病なる、それらの年もかぞへこして、今年は五十三の秋も立ちぬ。為頼の中納言の、若き人々の逃げかくれ
ければ、「いづくにか身をばよせまし」とよみて歎かれけんも、やや思ひしる身とはなれりけり。

さればうき世に立ち交はらんとすれば、なきが多くもなりゆきて、松も昔の友にはあらず。たまたま一座につらなりて、若き
人々にもいやがられじと、心かろくうちふるまへども、耳疎くなれば咄も間違ひ、たとへ聞こゆるささやきも、当時のはや
り詞をしらねば、それは何事何ゆへぞと、根問ひ葉問ひをむつかしがりて、枕相撲も拳酒も、さはぎは次へ遠ざかれば、奥の
間に只一人、火燧蒲団の島守となりて、「おむかひがまいりました」と、とはぬに告ぐる人にも「忝し」と礼はいへども、何の
かたじけなき事かあらむ。

六十の髭を墨にそめて、北国の軍にむかひ、五十の顔におしろいして、三ヶの津の舞台にまじはるも、いづれか老を歎かずや
ある。歌も淨るりも落し咄も、**A** は **B** のにまさりしものと、老人ごとに覚えたるは、をのが心の愚なり。物
は次第に面白けれども、**B** のはわれが面白からぬにて、**A** は我が面白かりしなり。しかれば、人にもうとまれ
ず、我も心のたのしむべき身のをき所もやと思ひめぐらすに、わが身の老を忘れざれば、しばらくも心たのします、わが身の老
を忘るれば、例の人にはいやがられて、あるはにげなき酒色の上に、あやまちをも取り出でん。

されば老はわするべし、又老は忘るべからず。二つの境まことに得がたしや。今もし蓬萊の店をさがさんに、「不
の葉はうり切れたり、不**D** の葉ばかりあり」といはば、たとへ一銭に十袋うるとも、不**C** をはなれて何かせん。
不**D** はなくとも不**C** ならば、十日なりとも足りぬべし。「神仙死せず、何事をかなす。ただ秋風に向かひて感慨

多からむ」と、(注8) 薊子訓をそしりしもさる事ぞかし。

ねがはくは、人はよきほどのしまひあらばや。(3) 兼好がいひし四十たらずの物ずきは、なべてのうへには早過ぎたり。かの稀まれなりといひし X まではいがあるべき。ここにいささかわが物ずきをいはば、あたり隣の耳にやかからん。とても願のとどくまじきには、不用の長談議ながだんぎいはぬはいふにまさらんをと、此論このここに筆を拭ひぬ。

注1 いづくにか身をばよせまし——「いづくにか身をばよせまし世の中に老をいとはぬ人しなれば」という和歌による。

注2 松も昔の友にはあらず——「誰をかも知る人にせむ高砂の松も昔の友ならなく」という和歌による。

注3 枕相撲、拳酒——酒の席での遊戯の名称。

注4 六十の髭を墨にそめて——斎藤実盛さいとうさねもりが髪や髭を黒く染めて出陣した故事による。『平家物語』に見える。

注5 三ヶの津の舞台——京・大坂・江戸の芝居の舞台。

注6 蓬莱——中国で、仙人の住むという仮想の山。

注7 神仙死せず、何事かなす。ただ秋風に向かひて感慨多からむ——宋の陸游の漢詩による。

注8 薊子訓——三百年も生きてと伝えられる仙人。

問一 傍線部(ア)～(ウ)の語の意味としてもっとも適切なものを、それぞれ次の中から選んで、番号をマークしなさい。〔解答用紙A〕

- | | | | | | | | | |
|-----|---|---------|---|--------|---|--------|---|---------|
| (ア) | 1 | やはり | 2 | まさに | 3 | しだいに | 4 | 何となく |
| (イ) | 1 | わずらわしがる | 2 | 恐ろしがる | 3 | 理解しかねる | 4 | 風情に欠ける |
| (ウ) | 1 | うまくない | 2 | 逃げ場のない | 3 | やるせない | 4 | ふさわしくない |

問二 二重傍線部ⅠとⅡの解釈としてもっとも適切なものを、それぞれ次の中から選んで、番号をマークしなさい。〔解答用紙

A〕

Ⅰ 1 情を解さない人が増えていって

2 亡くなる人が増えていって

3 年端も行かない友人が増えていって

4 泣くほどの悲しみが増えていって

Ⅱ 1 まったく思いやりのないことだよ

2 なんとも面目ないことではあるよ

3 ちっともありがたいことはないよ

4 いかにもおせっかいなことだよ

問三

A

と B

、 C

と D

には、それぞれ対になる漢字一字が入る。それぞれ文中から抜き出して

記しなさい。〔解答用紙B〕

問四 波線部(a)～(f)の助動詞の意味としてもっとも適切なものを、それぞれ次の中から選んで、番号をマークしなさい。

〔解答用紙A〕

1 打消

2 打消推量

3 打消意志

4 意志

5 断定

6 完了

7 可能

8 受身

9 推量

10 尊敬

問五 X に入る数字を、次の中から選んで、番号をマークしなさい。〔解答用紙A〕

- | | | | | | | | | | |
|---|----|---|----|---|-----|---|----|---|-----|
| 1 | 六十 | 2 | 七十 | 3 | 七十七 | 4 | 八十 | 5 | 八十八 |
|---|----|---|----|---|-----|---|----|---|-----|

問六 問題文の内容と合致するものを、次の中から一つ選び、番号をマークしなさい。〔解答用紙A〕

- 1 体が衰えるままにしておく、気持ちまでも老け込んでしまうものだ。
- 2 老いも死もない仙人はうらやましいが、所詮人間は仙人にはなれない。
- 3 老後、自分の老いをどの程度意識して生きていくかの判断は難しいものだ。
- 4 六十の年寄りが髭を黒く染め、五十の役者がおしろいを付けるのは滑稽だ。
- 5 筆者は虚弱多病であったが長生きをし、五十三の秋にあの世に旅立った。
- 6 筆者は若者に気に入られようとして大騒ぎをしたが、逆にかかわれた。

問七 二重傍線部Ⅲ「よきほどのしまひあらばや」を、二十五字以内で現代語訳しなさい。〔解答用紙B〕

問八 破線部(1)～(3)の作者の作品を、それぞれ次の中から選んで、番号をマークしなさい。〔解答用紙A〕

- | | | | | | |
|---|------|---|-----|---|-------|
| 1 | 徒然草 | 2 | 去来抄 | 3 | 心中天網島 |
| 4 | 笈の小文 | 5 | 方丈記 | 6 | 世間胸算用 |

二 次の文章をよく読んで、後の問に答えなさい。

わたしたちがファッションとしての衣服を身に着けることへの欲望はいろいろあるにしても、まずは、文字どおり「装う」ことへの欲望を①又きにはできない。⁽ⁱ⁾「装う」こと、つまり何かを身に着けるということのもつとも明確な行為として「装う」があるわけだけれど、⁽ⁱⁱⁱ⁾あらゆるファッションへの欲望もまた、大なり小なり「扮装」に結びついていて、だからこそファッションは「いかがわしきもの」という②オ名をいまだどこかに負っているのだし、たとえばファッションにとりわけ気を使う^(iv)オシヤレな男など信用できないという気分があつたりするのではないか。^(v)しかし目立とうが目立つまいが、新しからうが古からうが、職業的特性を表現していいようがいまいが、ファッションとしての衣服を身に着けることへの欲望は「扮装」することの欲望に関わっていることは否定できない。【1】

してみれば、わたしたちが身に着けるファッションと、《ア》演③ゲキにおけるコスチュームとを区別するものはその本質において何も無いと言えよう。《イ》ファッションの問題を今日的演ゲキ論の視点から語ることもまた興味のあることだ。

《ウ》ファッションは、わたしたちを「らしき人間」に変える。《エ》、少なくとも社会的な存在としてのわたしたちにとって、「らしき人間」とそうではない人間とを区別するものもまた、その本質において何も無い。「らしき人間」という問題は、わたしたちの自己同一性(アイデンティティ)の問題に深く関わっている。《オ》、「いかがわしき扮装行為の小道具であるファッションは、実のところわたしたちの自己同一性を④キ定していると言わなければならない。^(注1)ロラン・バルトによれば、「衣服は人間を表現せず、それを構成する。あるいはむしろ、よく知られているように、人間とは自分が欲するイメージにはかならず、衣服はこのイメージを信じることを可能にする」のである。わたしたちは、父親や母親らしきものを装い、若さや新しさや、実直さや自由さ、そしてあらゆる「らしき」を生きようとする。そのために、それらしきファッションを欲望する。そしてファッションは、わたしたちが欲望する自己同一性のイメージを信じさせてくれるのである。【2】

I ^(注2)日本の近代化が、知られるように鹿鳴館^(ろくめいがん)以来ファッションを⑤トモナつていたことは、まさに国家が西欧的なるファッション

を通してそれらしき自己同一性を求めたからにはかならない。また日本の戦後が、それまで以上に共同体的なものからのとめどない脱コード化あるいは脱属領化デトリリーを徹底させて行なったことと、わたしたちがかつてないほどにファッションに執着しはじめた時代であったことはけっして無^⑥エン^⑦ではないだろう。というのも、戦後日本における共同体のとめどない^⑦ホウ^⑧壊(脱コード化)——もちろんそれは戦後にはじまるのではなく、明治期から進行するのだが——は、一方で個人の存在(自己同一性)を徹底してあやふやなものにしていったからだ。かつて存在をつなぎとめ、価値づけていたのは共同体だった。^③

してみれば、戦後日本のわたしたちが自己同一性と関わるファッションにそれまで以上に強く執着したのも不思議はない。繰り返すが、ファッションは、わたしたちが何者かのあるべき存在を信じさせるからだ。そして、八〇年代がかつて見なかったような形での、ファッション(注3)のDCブランド化という現象を惹ひき起こしていたのだとすれば、自己同一性を^⑧キ^⑨求して彷徨ほうこうするわたしたちの欲望がいかなる状態にあったかはおくとして、それまで以上に激しいものになっていたのだと言えないか。明治以後、そして戦後、それまでになく徹底して進行する共同体を含めた伝統的価値システムの脱コード化は、もちろん資本の論理によつて再^{II}コー^{II}ド化(再編)されるのである。そうした脱コード化と再コード化の運動と、ファッションの問題は無エンではあるまい。^④

ところで、装うことへの欲望、つまり自己同一性を求めることへの欲望もまた、わたしたちの社会的欲望と関わっていることは言うまでもない。だからこそ、ファッションもまた、社会的意味の体系を構成しているのだと言える。^⑨ **ボウ** ^⑩大な資料(ファッション雑誌)を通して、^⑩モードにはまさにモード(法)的意味の体系があり、それがモードの世界を構成しており、そして現実のイデオロギーがそのモード世界に降り来たっている様相までも、信じがたいほどの緻密ちみつさでロラン・バルトが分析してみせたことは、知られているとおりで。その社会的意味の体系と関わっているわたしたちの欲望は、悲しくも二つの極へと引き裂かれて^{III}いる。わたしたちの欲望は、他者のまなざしによつて自らの存在を確認することへの、いわばナルシステックな欲望である。誰かに見守ってもらいたいという欲望と言ってもいいだろう。したがって、わたしたちは他者との差異(違い)を欲望しつつ、その結果、他者の欲望するものを欲望するがゆえに、他者と^⑪同一化する。差異と同一化という両極へと、わたしたちの欲

望は、メビウスの輪のような奇妙な形にねじれて引き裂かれてしまうのである。それは自らの存在を確認させるまなざしを持つ他者の欲望が、本質的な面で「主体のモデル」だからだ。こうした欲望を、たとえば、ルネ・ジラールは「模^⑩ホウ」的な欲望」としている。

(柏木博『ファッションの20世紀 都市・消費・性』による)

注1 ロラン・バルト——一九一五—一九八〇。哲学者。

注2 鹿鳴館——明治初期に建てられた洋館。上流社会の社交の西洋化を図り、外国貴賓の接待・宿泊施設として用いられた。

注3 DCブランド——一九八〇年代に日本国内で社会的なブームとなった高級ファッションブランドの総称。デザイナーの個性を活かした、定番を作らない多品種少量生産の服作りを志向した。

注4 ルネ・ジラール——一九二三—二〇一五。文芸批評家。

問一 ①～⑩の□の中のカタカナ部分を、それぞれ適切な漢字に改めなさい。〔解答用紙B〕

問二 波線部(i)～(v)の語の品詞を、それぞれ次の中から選んで、番号をマークしなさい。〔解答用紙A〕

- | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|------|---|----|---|-----|---|-----|
| 1 | 形容詞 | 2 | 形容動詞 | 3 | 副詞 | 4 | 連体詞 | 5 | 助動詞 |
|---|-----|---|------|---|----|---|-----|---|-----|

問三 問題文は次の一文が省略されている。問題文中の【1】～【4】のどこに入るか、その番号をマークしなさい。〔解答用紙A〕
それを失ったわたしたちは自らの自己同一性を求めてむなしく彷徨うのである。

問四 《ア》《オ》に入る語を、それぞれ次の中から選んで、番号をマークしなさい。〔解答用紙A〕

- 1 たとえば
- 2 しかし
- 3 したがって
- 4 つまり
- 5 ともあれ

問五 傍線部Ⅰの説明としてもっともふさわしいものを、次の中から選んで、番号をマークしなさい。〔解答用紙A〕

- 1 個人の自己同一性とは何かが問われるようになったこと。
- 2 伝統的な共同体による根強い抵抗を受けるようになったこと。
- 3 ファッションへの関心が女性だけでなく男性にも広がったこと。
- 4 共同体の解体により個人の価値が結果的に高まったこと。

問六 傍線部Ⅱの説明としてもっともふさわしいものを、次の中から選んで、番号をマークしなさい。〔解答用紙A〕

- 1 旧来の価値が完全に否定されるようになること。
- 2 売れ筋の価値が輸入されるようになること。
- 3 旧来の価値が再発見されるようになること。
- 4 新しい価値が付与されるようになること。

問七 傍線部Ⅲの内容を具体的に言い換えている箇所を、問題文中からそのまま抜き出しなさい。〔解答用紙B〕

問八 傍線部Ⅳは、問題文の筆者によれば、ある逆説のうえに成立している。どのような逆説か、解答用紙に合わせる形で、二

○字～二五字で示しなさい。その際、「自己同一性」「他者」「必然」の三つの語を必ず用いること。〔解答用紙B〕